



# 元気ツス！でみんなを笑顔に 夏の素敵な思い出に

問 地域協働課地域協働係 ☎95-9872

今回で24回となる元気ツス！へきなん。元気ツス！へきなんが始まるまで、碧南市の祭りとしてはJ.C（碧南市青年会議所）主催「あつまりんへきなん」、碧南文化協会主催「夏の納涼盆踊り大会」が長年開催されてきました。平成10年に碧南市制50周年記念行事として、「元気ツス！へきなん」が誕生しました。健康で活力あるまちづくりを目指す思いから「元気」、そこに愛情表現である「キス」を加えて誰もが親しみやすく、遊び心ある明るいイメージの「元気ツス！」という名前になりました。第1回は大盛況に終わり、今後も市民祭りとして継続してほしいという強い要望から現在まで続いています。

## 市民の思いをカタチに

子どもから年配の方まで幅広く、市民がこぞって参加でき、みんなで楽しめる祭りを目指して、平成24年の第15回開催より主催が「元気ツス！へきなん実行委員会」から「元気ツス！へきなん市民会議」へと移りました。市民が中心となって、市と協働で企画・運営を行うようになりました。

現在52人のメンバーがあり、20代から60代の幅広い世代の男女が集まっています。

今回は市民会議のメンバー3人に4年ぶりの開催に向けた熱い思いを伺いました。

## 元気ッス！との出会い

**杉浦**…第1回から参加して踊っています。本当に楽しくてしようがないイベントで、自分たちも元気ッス！を盛り上げていきたいという気持ちで今も市民会議に参加しています。

**関山**…僕は、子どもを連れて元気ッス！に来たのが最初です。その数年後に子ども会で踊りに参加したのが印象に残っています。市民会議に参加する前までは、おやじの会として元気ッス！に関わっていません。杉浦さんの元気ッス！と一緒に盛り上げようというお誘いをきっかけに市民会議に参加しました。

**坂本**…碧南市には元々ベトナム人がたくさん住んでいて、ベトナムの文化を碧南市に広めたいという思いがありました。そんな中、ディズニー



すぎうら こう  
**杉浦 光** (65歳)

ミスター元気ッス！

第20回の元気ッス！にディズニーを呼んだ立役者。誰よりも元気ッス！を愛する男。

24時間365日元気ッス！のことを考え、長年携わっていることから「ミスター元気ッス！」という愛称が付いた。

趣味はサッカー、そして人と触れ合うこと。

が来た時の元気ッス！に、ベトナム料理フォアのブースを出店したのがきっかけです。売り切れが続出し、スーパへ買い出しに走ったのが良い思い出です(笑)

元気ッス！をきっかけに両国の文化を多くの方に伝えたい、そしてカッコいい赤色の元気ッス！Tシャツを着て、碧南最大のイベントと一緒に盛り上げていきたいという思いから市民会議に参加しました。

## 思いをつなぎ進化し続けてきた

**杉浦**…元気ッス！へきなん実行委員会が主催のときは行政主導のものでした。市民のために行われる祭りを、市民である僕たちがより楽しめるものにしていくというところから元気ッス！へきなん市民会議が誕生し、主催していくことになりました。

それから、市民会議のみんなで行うしたら子どもから年配の方まで、みんなを笑顔にできるのだろうとアイデアを募っていきました。いろいろ悩んでいた中、平成23年に東日本大震災が起こりました。宮城県塩竈市への市職員派遣に併せて、僕も同行し、現状を知りました。その中で塩竈市は祭りの復興を始めたのです。改めて祭りの持つパワーに気付かされました。元気ッス！は碧南市をさらに元気にできると強く感じ、当時ディズニーパレードが復興支援をしていると聞き、「これだ！これしかない！」と思い誘致していくことに決めたのです。

**関山**…いやあ、熱いですね！そういった思いを形にできるのが市民会議メンバー冥利に尽きますよね。



せきやま こうじ  
**関山 孝司** (57歳)

元気ッス！へきなん市民会議3代目会長 おやじの会の時から現在に至るまで約15年元気ッス！に関わっている。

趣味は社交ダンス。現在でも発表会に出場されている。

元気ッス！当日は関山さんのダンスが見られるかも！？



△元気ッス！をより良いものにするため、積極的にアイデアを出し合っています。



フン テ トゥン (さかもと あいち) (37歳)  
ベトナム出身、平成26年から碧南市民  
碧南市の楽しい文化を共有して、外国籍の人も一緒に楽しみたいという思いで昨年秋から市民会議のメンバーに。  
趣味は、人や自然と触れ合うこと。いろんな人との食事や飲み会、家族で海や山に行って美しい自然を感じるのが楽しみ。

## 世界に誇れる元氣ツス！へきなんに

らとても素敵だなと思っています。

### 思い描く理想と夢

**坂本**…元氣ツス！は本当にいい文化だと思います。世界に広がっていくといいな。次の目標は世界遺産登録ですかね！今度世界遺産の条件を見てください！(笑)

**杉浦**…さらにその次は、宇宙で元氣ツス！だね！(笑)「デイズニーが呼べたのだから、なんだってできる！開催まであと少し、たくさん考えてきたから必ず大成功になるよ！そう信じて頑張ろう！」

**関山**…4年ぶりの開催ということで、元氣ツス！離れが少し不安ではありますが、徐々に思いっきり楽しんでほしいです。今回のサブタイトルは「おかえり元氣ツス！」。完全復活、そしてさらにパワーアップして帰ってきた元氣ツス！をみなさんに「おかえり！」と温かく迎え入れてもらえるように準備します。当日はご家族やご友人、たくさんの人を誘ってぜひ来てください！躍って、食べて、楽しんで笑顔いっぱい、元氣いっぱいになってください！

振り付け動画を見て一緒に踊ろう！



試行錯誤を重ねる意識を持つようになり、現在では元氣ツス！全体にその意識が浸透し、ほかの祭りにはない魅力が生まれたと思います。例えば、バンドによる生演奏で踊る祭りは、全国的に見ても少ないと聞いています。

### 新たな挑戦

**坂本**…今回の元氣ツス！では、市制75周年記念ということで、多文化共生パレードを行います。僕の夢でもあった元氣ツス！で外国籍の方にも踊りに参加し、楽しんでもらえるようにブラジルのサンパレードやベトナムの伝統衣装アオザイを着たパレード、そしていろんな国の皆さんを招待しました。外国籍の方は踊りの振り付けが分からず、踊りには参加できない方が多くいましたので、振り付けや元氣ツス！についての外国語版の動画をYouTubeで配信しています。国籍を問わず誰でも大歓迎です。今年には日本ベトナム両国の外交関係樹立50周年も迎えており、このタイミングで新しい試みができることはとてもうれしいです。

**関山**…外国籍の方が増えている中で大切なのは、コミュニケーションをとることだと思います。元氣ツス！を通して、境界線を無くしていきたい

かけて碧南市の祭りと言えば元氣ツス！というものになってきたと思います。その中で一番思い出深いのは、やはりデイズニーを呼んだ時でした。そんなことはできないと反対の声もありましたが、最終的にはみんなの笑顔を見ることができたのは本当に幸せでした。

**坂本**…新型コロナの影響で中止になってしまったこともありましたが、あの時、元氣ツス！はどうなったのだろうとすごく気になっていました。そんなコロナ禍でも「#おうちで元氣ツス！」や、中止の翌年には「#まんぶく元氣ツス！」が開催されてとてもうれしかったです。

**関山**…コロナで元氣がなくなっている時だからこそ、元氣ツス！で取り戻したいという思いから、市民会議のみんなでたくさん案を出していただきました。

### 祭りの作り手としての苦悩

**杉浦**…毎年楽しいのですが、やはり毎年大変です(笑)。みんなが喜ぶ祭りにするにはどうしたらいいか、市民会議でああでもないこうでもないという悩みながら、25年という月日を

**関山**…僕はおやじの会から元氣ツス！に関わっていたのですが、その当時は市役所側をメインステージ、文化会館側をサブステージとしており、おやじの会はサブステージの担当でした。最初は何も気にせずにイベントづくりをしていましたが、段々サブという言い方が気になってきました(笑)。「サブがメインを超えてやる！」という気持ちで頑張っていました。メインと同じことをしても薄れてしまうということから